

年間授業計画

墨田工科高等学校 令和7年度

教科 工業（自動車）

科目

自動車構造A

教科 科： 工業（自動車）

科 目： 自動車構造A

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組～ 組

教科担当者：（ ）

使用教科書：（ 基礎自動車工学（一般社団法人日本自動車整備振興会連合会） ）

教科 工業（自動車） の目標：

- 【知識及び技能】
- 工業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 自動車構造A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造	自動車および自動車を構成する各部分の基本的な構造

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	自動車用材料 自動車の部品に使用されている材料についての知識をもとにし、基礎的・基本的な内容を理解させる。	自動車用材料 1. 鉄鋼 2. 非鉄金属 3. 焼結合金 4. 非金属	【知識・技能】 自動車に使用されている材料についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 自動車用材料の性質や分類などについて、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて用途例を考える能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	15
	材料の機械的性質 材料の機械的性質についての知識をもとにし、基礎的・基本的な内容を理解させる。	材料の機械的性質 1. 強さ 2. 硬さ 3. 衝撃強さ 4. その他の機械的性質	【知識・技能】 材料の機械的性質についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 材料の機械的性質について、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて考える能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	2
	中間考査	中間考査	中間考査				
	期末考査	期末考査	期末考査	○	○		1

2 学 期	材料の機械的性質 材料の機械的性質についての知識をもとにし、基礎的・基本的な内容を理解させる。	材料の機械的性質 1. 強さ 2. 硬さ 3. 衝撃強さ 4. その他の機械的性質	【知識・技能】 材料の機械的性質についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 材料の機械的性質について、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて何故、自動車の部品に使用されているか考える能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	15
	自動車用材料の加工 自動車の部品に使用されている材料の加工法についての知識をもとにし、基礎的・基本的な内容を理解させる。	自動車用材料の加工 1. 鋳造 2. 塑性加工 3. 機械加工 4. 溶接 5. 表面処理 6. その他の加工と処理	【知識・技能】 自動車用材料の加工法についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 自動車用材料の加工法について、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて材料にあった加工法を考える能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	15
	中間考査		中間考査				
	期末考査	期末考査	期末考査	○	○		1

3 学 期	自動車用材料の加工 自動車の部品に使用されている材料の加工法についての知識をもとにし、基礎的・基本的な内容を理解させる。	自動車用材料の加工 1. 鋳造 2. 塑性加工 3. 機械加工 4. 溶接 5. 表面処理 6. その他の加工と処理	【知識・技能】 自動車用材料の加工法についての基本的な知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身についている。 【思考・判断・表現】 自動車用材料の加工法について、自ら思考を深め、適切な判断に基づいて材料にあった加工法を考える能力が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	20
	学年末考査	学年末考査	学年末考査	○	○		1
							合計
							70